

令和6年度自己点検・自己評価の結果概要

1 自己点検・自己評価の取り組みの経過

- 平成24年自己点検評価をスタートした年は厚労省の示す「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」に基づき大項目9小項目125で3段階評価として実施していた。
- 平成29年度に評価項目の見直しを行い、本校の実情に合わせ小項目について統合再編し68項目3段階評価とした。（大項目は変更していない。）
- 令和2年度には小項目の見直しを行い、（大項目は変更なし9項目）小項目69に変更するとともに中心化傾向を避けるために評価段階を3段階から4段階とした。
- 令和5年度、前回の改正から3年経過し、その間カリキュラム改正があったことや、重複や評価しづらいものがある等の意見を受け再度見直しを図り、大項目8項目、小項目69項目に変更した。

2 自己点検評価等により課題とされた事項への主な取り組み

令和5年度の結果を受け、令和5年度は学校の組織目標に以下を組み込んで取り組みを行った。

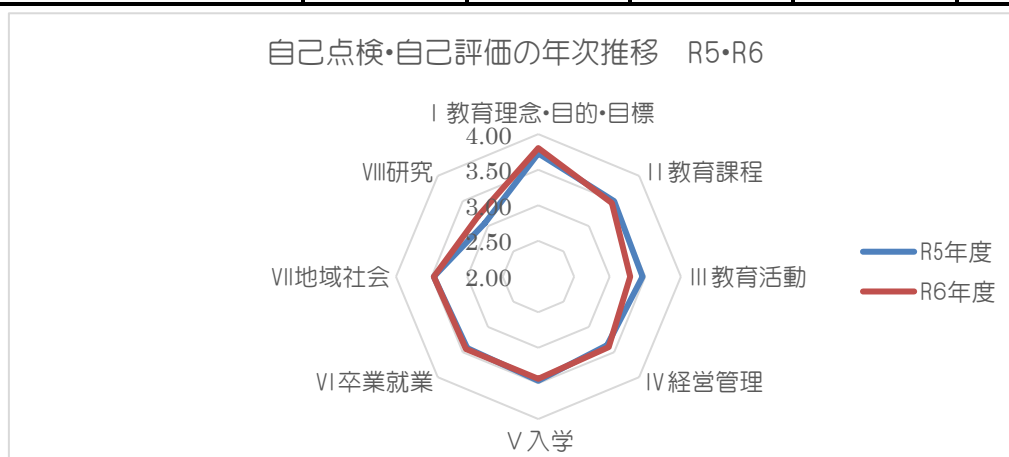
- ① 授業準備の確保、自己研鑽の時間を確保し、ワークライフバランスを考えた働き方のために業務改善を行う。
- ② キャリアラダーを活用し、教員個々のレベルに応じた育成を推進する。
- ③ 教員個々が自己の役割を認識し、より良い教育活動のためにチームの中で力を発揮する体制づくりを推進する。
- ④ 新カリキュラムを予定どおりに実施し評価する。
- ⑤ 臨地実習における学生の安全教育、安全対策を強化する。

3 令和6年度自己点検・自己評価結果

【評価結果】

表1 年度別の評価集計結果

大項目	R6 年度	R5 年度	R4年度	R3 年度	R2 年度
I 教育理念・教育目的・教育目標	3.79	3.73	3.7 3.69	3.76 3.71	3.18 3.13
II 教育課程	3.46	3.50	3.25	3.38	3.06
III 教育活動	3.29	3.46	3.45	3.53	3.46
IV 経営管理	3.41	3.36	3.35	3.38	3.25
V 入学	3.41	3.46	3.54	3.43	3.47
VI 卒業・就業・進学	3.44	3.42	3.20	3.22	3.08
VII 地域社会	3.57	3.47	3.29	3.04	2.81
VIII 研究	3.21	3.06	2.43	2.33	2.25
全体平均	3.45	3.42	3.32	3.31	3.07



- 全体の平均点は昨年度よりやや高値となった。
- 大項目では、全ての項目で3点以上の評価だった。Ⅲ教育活動が昨年度より低下しており、Ⅶ地域社会、Ⅷ研究は上昇した。
- 大項目Ⅰ教育理念・教育目的・教育目標、Ⅱ教育課程は、昨年度とほぼ変化ない評価結果だったが、実習施設との連携についての項目が平均点を下回っており、今後も学生にとってより良い実習となるために実習施設との連携が必要となってくる。医療安全教育を計画的に実施し、実習施設へのフィードバックを実施した。
- Ⅲ教育活動の評価が下がった。教員間の授業に関する意見交換、協力体制の強化、学習支援が必要な学生への対応の充実が課題となる。
- Ⅳ学校経営は平均点より低値であった。今年度は学校の重点目標として業務改革、ワークライフバランスを考えた働き方をあげた。DX推進等改革が進んだ部分もあり、休暇取得率は上昇したが、余裕を持った業務には至っていない。引き続き、授業準備、自己研鑽の時間を確保できるよう努めていきたい。
- Ⅴ入学は受験者数減少に伴い、評価結果も下がった。全職員で受験者数増加のための方略を検討中である。
- Ⅵ卒業・就職・進学は、昨年度とほぼ同様である。引き続き、国家試験対策、学生個々に合ったキャリアの支援に努めていきたい。
- Ⅶ地域・社会はボランティア、文化祭、フィールドワークを推進したことから高評価となった。引き続き、教育活動に地域との交流を取り入れていきたい。
- Ⅷ研究は評価点が上がった。他校との交流を通して自校を見直す機会を得られた。

4 今後に向けて

令和6年度の取り組み及び自己点検・自己評価の結果を受け、令和7年度は次の取り組みを行う。

- ① 全教職員が授業準備の確保、自己研鑽の時間を確保し、ワークライフバランスを考えた働き方のために業務内容を共有し、助け合う。
- ② 職員間の情報共有、意見交換の機会を作り、教育力の向上を図る。
- ③ 学生が主体的に理解につながる学びができるよう、カリキュラムを評価し再構築する。
- ④ 臨地実習における学生の安全教育、安全対策を強化する。

第5次カリキュラム運用3年間を終えて、カリキュラム評価に取り掛かり、より学生の学びにつながるカリキュラムとしていきたい。

併せて学校関係者評価においていただいた、多くの貴重なご意見・評価を踏まえ学校運営全般の質の向上を図っていきたい。